

① 5つの評価指標とカットオフ値

#	指標	カットオフ（装具なし）	何を見るか	出典	患者の評価
1	歩行速度（10m歩行）	0.87 m/s 以上	屋外活動に必要な速度／前進駆動力	An S, 2015 PMID:26310714	m/s
2	歩行距離（6MWT）	318 m 以上	屋外活動に必要な持久力／遠出での破綻	An S, 2015 PMID:26310714	m
3	バランス（BESTest）	69.44% 以上	1年以内の転倒リスク／6サブシステム	Sahin IE, 2019 PMID:30814369	%
4	運動機能（FMA-LE）	21 点 以上	麻痺側の純粋な機能／代償との区別	Kwong PWH, 2019 PMID:30902629	点
5	歩容（観察評価）	下記チェック項目	つまずきリスク／代償歩行	Burpee, 2015 PMID:26371855 他	☐ 良好 / ☐ 不十分

※ ①～④はいずれも「装具判断」を直接の主題にした研究ではありません。BRAINが関連領域のカットオフを臨床判断に転用した臨床判断（合成意見）です。各指標の詳細な採点基準は原著・公式マニュアルを参照ください。

② 判定フロー：3つの臨床シナリオ

作る判断

装具未作成かつ
5指標すべて未達
（特に⑤歩容で底屈位・踵接地不可）

→ AFO作成を提案
麻痺側機能・バランスへ介入

続ける判断

AFO使用中で
3指標以上未達
（④FMA-LE・⑤歩容で代償明確）

→ AFO継続
FMA-LE ↑ → BESTest ↑ → 歩容

外す判断

AFO使用中で
1～2指標のみ未達
（特に①③④⑤達成）

→ 段階的卒業の試行
屋内→屋外短距離→長距離

③ 歩容観察チェックリスト（指標⑤の詳細）

遊脚期（Swing Phase）

- ☐ 足関節が背屈できている
- ☐ つま先のクリアランスが確保されている
- ☐ 底屈位での"引きずり"がない
- ☐ つまずきが発生していない

立脚期（Stance Phase）

- ☐ 踵接地ができている
- ☐ 底屈モーメントの過剰がない
- ☐ 反張膝の代償が出ていない
- ☐ 立脚中期の安定性が保たれている

④ 担当患者の評価記入欄

患者ID／氏名		評価日	
発症からの期間		装具状況	☐ 未作成 / ☐ AFO / ☐ KAFO
あなたの判断	☐ 作る / ☐ 続ける / ☐ 外す試行		
介入優先順位	1.	2.	3.
備考・気付き			

免責事項：本ワークシートは「装具判断の補助ツール」であり、診療上の最終判断はチーム医療（医師・PT・OT・装具士）で決定してください。患者個別の病態（重度認知症・重度感覚障害・進行性疾患等）では適用が困難な場合があります。